

技術検討会「産学連携検討会」

世話役 林田安生(熊本県産業支援課)

1 事業概要

目的	<p>企業が大学との連携をイノベーションの創出に結び付けていくためには、企業ニーズを中心に据えた産学連携の構築が重要である。そこで、本技術検討会では、産業界(企業)が求める技術等について検討し、講演会を開催することで、共通の技術領域に興味を持つ企業と大学等研究機関との接点、新たな共同研究への足掛かりを見出す。</p> <p>※熊本県は、県内において、企業ニーズを中心に据えた産学連携の体制整備及びその定着等を図るため、「くまもと産学連携等イノベーション推進事業」を実施(2026～)。本事業で実施する講演会等での産学交流を起点とした連携の構築を想定。</p>
内容	<p>①熊本県の産業環境及び産業構造に留意して、「半導体関連」または「ライフサイエンス関連」等を対象分野とし、産業界の意見等に基づき、取組テーマ(技術等)を設定する。</p> <p>②取組テーマ(技術等)に関する講演会を開催し、産学の交流を推進する。</p> <p>③そして、県内企業のニーズを中心に据えた産学連携の促進、国等の競争的資金も活用した共同研究の推進を図り、ひいては、地域におけるオープンイノベーションの創出につなげる。</p>
計画	適宜開催する。
キーワード	半導体、ライフサイエンス、UXプロジェクト、くまもと産学連携等イノベーション推進事業
目標及びその進め方	<p>①くまもとクロスイノベーション推進協議会や熊本県工業連合会等へのヒアリングを実施し、「半導体関連」や「ライフサイエンス関連」等の中で取組テーマ(技術等)設定のための調査・分析を行う。</p> <p>②①の調査・分析を基に、講演会を企画し、年1回以上開催する。講演会の対象者は、県内製造業者及び大学等研究機関の職員とする。</p> <p>③県内の大学等研究機関と連携し、②での講演会参加者の交流を基に、県内企業のニーズを中心に据えた産学連携の構築を進める。※関連事業「くまもと産学連携等イノベーション推進事業」(熊本県、2026～)</p>
対象者	<p>①半導体やライフサイエンス等に関連する研究開発を実施または計画している県内製造業者</p> <p>②半導体やライフサイエンス等に関連する研究開発の実績を持つ大学等研究機関の研究者 等</p>
会員	参加者は随時募集する。

2 支出計画

単位:千円

	RIST負担分					備考
	設備費	原材料費	消耗品費	その他	合計	
予算		25	25	150	200	その他: 講演会開催費

3 予算積算

(単位:千円)

	品名	単価	個数	価格	備考
設備費				0	
原材料費	調査、実証方法検討等に係る原材料	25		25	
消耗品費	実証方法検討等に係る試薬、器具	25		25	
その他	講師等旅費、謝金	150		150	
合計				200	